

## ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の防除について

昨年（令和2年）の田植時期に、大利根地域の一部の地区において、ジャンボタニシによる被害が認められました。

令和3年度は、以下の点を踏まえて、防除等に努めましょう。

### ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の生態

ジャンボタニシは、スクミリンゴガイと言い、食用目的に日本に入ってきましたが、その後放棄されたり養殖場から逃げ出したりして野生化しました。

このジャンボタニシは、水中での酸素欠乏を防ぐため、水面より上に卵を産み付け、2～3週間でふ化します。

ジャンボタニシは、繁殖力が強く、雑食性で水稻の苗（田植え後3週間程度まで）を食べ、時折、被害が大きくなります。

熱帯性生物のために、寒さに弱く、大き過ぎて土に潜れなかった貝は寒さで死んでしまいますが、雑草の下や土中に潜れた貝は越冬し、水田に水が入ると活動を開始します。

### ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の防除対策

- 水路からの進入を防ぐため、取り入れ口に金網を張ってください。
- 卵（赤色）は、水中では呼吸できないので水中に落としてください。
- 冬期に、トラクターで耕運し貝を破碎するなど、冬眠中のジャンボタニシを土から出して凍死させてください。
- 防除する時は、素手では触れずゴム手袋等を使用し適正に処理してください。



ジャンボタニシ



ジャンボタニシの卵

お問い合わせ 加須市役所 農業振興課 62-1111（内線211）  
大利根総合支所 農政建設課 72-1321